

研究に関するお知らせ

—腎移植および血液透析を受けている患者さんへ—

【研究課題】 透析患者ならびに腎移植患者におけるサルコペニアの評価法および 影響因子についての検討 透析患者における PMI の cut off 値の提案

【研究目的】 サルコペニア（加齢性筋肉減少症）は、要介護につながる日常生活機能の低下や転倒だけでなく、死亡率の増加と関連することも明らかにされています。サルコペニアの原因としては、活動性の低下、低栄養状態、悪性腫瘍、感染症など様々な原因がありますが、近年、慢性腎不全も原因となることが分かってきました。今後、さらに透析患者さんの高齢化が進み、筋力が低下し転倒する患者さんが増えることが予想されます。そのため外来通院を継続する上でも転倒の予防は極めて重要です。本研究は患者さんの筋力や栄養状態などを把握し、サルコペニアおよび転倒のリスク因子を評価すること、またサルコペニアの透析患者さんにおいて、腹部 CT での筋肉量の基準を見出すことが目的です。

【対象・研究方法】

当院および関連施設において、18 歳以上で透析療法および腎移植を受けている患者さんが対象となります。対象となった患者さんの四肢の骨格筋量、握力、歩行速度を測定し、サルコペニアの診断を行います。また定期的に施行されている腹部 CT 画像を用いて筋肉量を評価し、サルコペニアとの関連について検討します。また年齢、性別、透析歴、糖尿病の有無、悪性疾患の有無、心血管合併症の有無、血中副甲状腺ホルモン濃度、血中カルニチン濃度、栄養状態、透析効率、透析条件との関連について調査し、サルコペニアとの関連について検討します。研究期間は承認日から **2026 年 3 月 31 日**までです。症例数は 150 症例を予定しています。

【研究機関名】 金沢医科大学病院、恵寿総合病院、穴水総合病院

【個人情報の取り扱い】 収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化したしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表する予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【その他】 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。また、研究の対象となる患者さんに謝金はありません。この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

ご自身の検査結果など研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 藤本 圭司 金沢医科大学 医学部 腎臓内科 臨床准教授

住所： 石川県河北郡内灘町大学 1-1 TEL 076-286-2211 (内線:3403) FAX 076-286-2786

ご連絡の際には、お名前 / 金沢医科大学病院の診察券番号 / 拒否する研究のタイトルをお知らせください。